

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 130-132	カンボジアの田舎の村民における家禽取り扱いに関する知識、態度および実践を調査した。Prey VengおよびKampong Cham地方のH5N1高危険性コミュニティにある25村各々から15歳以上の20人、計500人を目標に、2段階の世帯ベースのクラスター調査を行った。トリインフルエンザおよび個人的防護手段に関して広い知識があるにもかかわらず、大部分の田舎のカンボジア人は危険性の高い家禽の取り扱い方をしていることが示された。
385	2007/08/17	70385	日本生物 製剤	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	細菌感染	ProMED-mail20070108.0079	チエコBmoでリステリア症の原因菌により起こ2週間で2名の女性が妊婦20週目に流産し、もう1例ではリステリア症が新生児に伝播したが、その子供は生き残った。感染経路は不明であるが、3名とも熟成中のチーズが好物とのことである。同国では以前このチーズ中に病原菌が発見された。同国では2006年には8名がリステリア症で死亡し、計62名がリステリア症と診断された。2005年の4倍以上であった。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED-mail20070108.0081	血液および血液製剤によるCJD原因物質の伝播リスクの分析が更新された。2000年以來、フランスで発生すると予想されるvCJD症例数は低下しているが、リスク分析の最悪シナリオでは次の60年で300例となり、血液ドナー120000例中1例が感染しているという仮説を導き出す。結局、感染性のある血液ユニットを受け取るリスクは120000分の1のレベルと考えられるが、適正に輸血が行われるならば、ベネフィットの方がリスクより大きい。
												BSE	FDA News: P07-04, 2007年1月11日	FDAはBSEサーフガードとして医薬品や医療機器で、特定のウシ原料を禁止することを提案した。禁止される原料は、30月齢以上のウシの脳、頭蓋骨、眼および脊髄、全てのウシの扁桃腺および小腸の一部、ヘタリウシの全ての部位、検査を合格していないウシの全ての部位などである。